



森風によせて

代表理事組合長 上田 和久

寒さ厳しき折、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素は森林組合の各事業に対し組合員の皆様、関係各位のご理解、ご支援、ご協力をいただいていることに御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症で始まりコロナウイルス感染症で終わり日本経済が翻弄された年となってしまいました。また、国民全員が新しい生活様式を実施して対応してきましたが、なかなか納まる気配はみえません。新しいワクチンの開発が急ピッチで進められていますが、早くワクチンが開発され接種でき、安心して元の生活に戻れることを心から節に思う次第です。

当組合におきましても新型コロナウイルス感染症の影響で、委託管理をしている松阪市森林公園については1ヵ月近くの休園を余儀なくされた事と、バイオマスを除く全ての直送先への原木の供給がしばらくの間停止されるなどの影響を受けていました。また、小径木加工販売事業においては、得意先や新しい取引先の開拓につきましても県外における訪問営業活動の自粛により、情報も収集しづらく現状が把握できない状態が現在も続いています。

今年度は松阪市森林公園の指定管理における契約更新の年でした。臨時理事会を開催し、担当職員また執行部一丸となって協議を行い、提案書を作成しプレゼンに臨みましたが残念ながら選考されませんでした。このため当組合の運営は令和3年3月31日までとなります。最大限努力した結果とはいえ、組合員の皆様には深くお詫び申し上げます。

一方、松阪市における森林環境譲与税を活用した事業につきましても、昨年度より順調に意向調査や現地の除間伐が実施されています。^{もりかつ}森林活プロジェクトにおいては、組合員皆様の協力により、昨年度よりは少ないものの順調に出材されていることに御礼申し上げます。また、木材加工販売事業において昨年取り扱いを始めた液体ガラス【燃えにくい・腐食しにくい・色あせしにくい】を木材に含浸させ、付加価値を付けた商品については、鈴鹿サーキットで今年春オープンされる【菜園めいろポタジェンヌ】という新アトラクションに使用されました。このことにより液体ガラスの実用性や森林組合の事業への取り組みも含め、多くの方に知っていただける機会になり今後の事業展開を広げていく第一歩を踏み出すことが出来たと考えています。

令和3年においてもこのままの状態が続きますと、昨年以上の厳しい状況になるのではないかと危機感を持っています。これまで以上に役職員一同が力を合わせ、頑張っ^て新型コロナウイルス感染症に負けないようしっかりと事業運営に取り組み、組合員皆様の信頼にお応えできるよう努めてまいりたいと思います。今後ともこれまで同様、組合員皆様、関係各位のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



松阪支所の移転（笹川町から伊勢寺町へ）及び小径木加工場名称変更について

業務拠点を集約するため、松阪支所（笹川町）の業務を小径木加工場（伊勢寺町）へ移転します。また、移転に伴い事業所の名称を変更いたします。組合員、関係各位の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

移転日 令和3年4月1日
名称 小径木加工場 ⇒ 松阪支所（木材加工場）
移転業務 支障木伐採、伐開造成、造園、病虫獣害防除、木製工事、建築工事

担当：総務課（本所 TEL 0598-32-3516）